

平成30年度 輸送の安全に関する公表（軌道事業）

1 安全方針

- (1) 常に安全意識を高く持ち、お客様の安全の確保を最優先します。
- (2) 関係法令等決められたルールを遵守します。
- (3) 安全を守るための取り組みを絶えず見直し改善します。

2 行動規範

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速かつ正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3 平成30年度安全重点施策

- (1) 安全輸送への積極的な姿勢を向上させ、事故件数の対前年度比 10%減と「重大責任事故」及び「インシデント」を発生させません。
- (2) 緊急時の確実な連絡体制及び対応を目指し、充実した教育訓練を実施します。
- (3) 輸送の安全を確保するため、健康意識の向上に努めます。
- (4) 軌道施設の巡視により異常箇所等の早期発見に努め、速やかな補修を行い、「輸送障害」を発生させません。

4 平成30年度安全重点施策の達成状況

- (1) 全事故件数については、前年度より5件増加し達成できませんでしたが、重大事故は発生しませんでした。
- (2) 7月に実施した消防との合同脱線復旧訓練において、連絡体制の確認及び乗客等の救助、避難誘導等について、また、12月に実施した脱線復旧訓練では、現場保全及び安全確保について充実した教育訓練を実施しました。
- (3) 毎日の出勤点呼時に司令による健康状態のチェックを行っているほか、心身の健康について保健師等との面談を行いました。また、年1回受診の定期健康診断、深夜業務従事者健康診断、身体機能検査、ストレスチェック診断及び3年に1回の睡眠時無呼吸症候群簡易検査を実施しました。これらを通じて、健診結果を把握することにより、自己の健康への意識向上を図りました。
- (4) 軌道施設に係る「輸送障害」は発生しませんでした。

5 事故等に関する情報

(1) 軌道運転事故

過去5年間の軌道運転事故の発生件数と死傷者数の推移					
年度	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
事故件数	6件	6件	5件	2件	0件
死傷者	6人	3人	4人	0人	0人
うち死者	0人	0人	0人	0人	0人

(2) 輸送障害

発生はありませんでした。

(3) 電気事故

発生はありませんでした。

(4) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

台風24号接近のため運休しました。

（平成30年9月30日（日）始業から16時まで）

(5) インシデント（重大事故につながりかねない案件）

発生はありませんでした。

6 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材対策

(ア) 電車事業課 運輸係

	研修名	期間	受講者数
1	春の全国交通安全運動によせての研修（合同）	4月11日～4月13日	107名
2	現任教養研修（新人運転士）	5月1日～5月10日	5名
3	臨時現任教養研修（事故惹起者）	5月15日～5月16日	1名
4	現任教養研修（司令・監督）	5月21日	11名
5	現任教養研修（運転技能訓練）	6月19日～6月21日	14名
6	臨時現任教養研修（長期休暇者）※育休	7月3日～7月21日	1名
7	脱線復旧訓練（消防と共同）	7月5日	34名
8	現任教養研修（運転技能訓練）	7月24日・7月26日	14名
9	現任教養研修（グループ研修）	8月20日～8月23日	107名
10	秋の全国交通安全運動によせての研修（合同）	9月18日～9月20日	105名
11	臨時現任教養研修（長期療休者）	9月27日～9月29日	1名
12	臨時現任教養研修（事故惹起者）	10月9日～10月12日	1名
13	臨時現任教養研修（長期療休者）	11月2日～11月5日	1名

	研 修 名	期 間	受講者数
14	臨時現任教養研修（添乗指導）	11月1日～11月15日	5名
15	現任教養研修（司令・監督）	11月9日	11名
16	現任教養研修（5年未満運転士）	11月19日～12月7日	33名
17	臨時現任教養研修（事故惹起者）	11月20日～11月24日	1名
18	年末年始輸送安全総点検	12月11日～12月13日	114名
19	脱線復旧訓練	12月19日	4名
20	現任教養研修（運転技能訓練）	1月16日～1月18日	20名
21	現任教養研修（司令・監督）	1月25日～1月26日	11名
22	臨時現任教養研修（添乗指導）	3月5日～3月13日	5名
23	現任教養研修（運転技能訓練）	3月19日～3月20日 3月22日	21名

(イ) 電車事業課 車両係

	研 修 名	期 間	受講者数
1	車両係新人研修	4月3日～4月18日	2名
2	春の全国交通安全運動によせての研修（合同）	4月11日～4月13日	21名
3	車両係新人研修	4月25日～4月27日	2名
4	玉掛け技能教習	5月14日～5月16日	1名
5	フォークリフト運転技能講習	5月14日～5月17日	2名
6	クレーン運転の特別教育	6月11日～6月12日	1名
7	車両係新人研修	6月26日	2名
8	車両係現任教養研修	6月26日	1名
9	7500形脱線復旧訓練(事前練習)	6月27日～6月28日 7月4日	32名
10	脱線復旧訓練(消防と共同)	7月5日	12名
11	アーク溶接等の業務の特別教育	7月9日～7月11日	1名
12	新人研修	7月18日	1名
13	新人研修	10月31日	1名
14	技術継承研修会	11月30日	2名
15	業務視察	12月6日～12月7日	2名
16	年末年始輸送安全総点検	12月11日～12月13日	20名
17	新人研修	12月18日	2名
18	現任教養研修	12月19日	17名
19	脱線復旧訓練	12月19日	11名
20	新人研修	2月7日	1名
21	新人研修	3月26日	1名

(ウ) 電車事業課 施設係

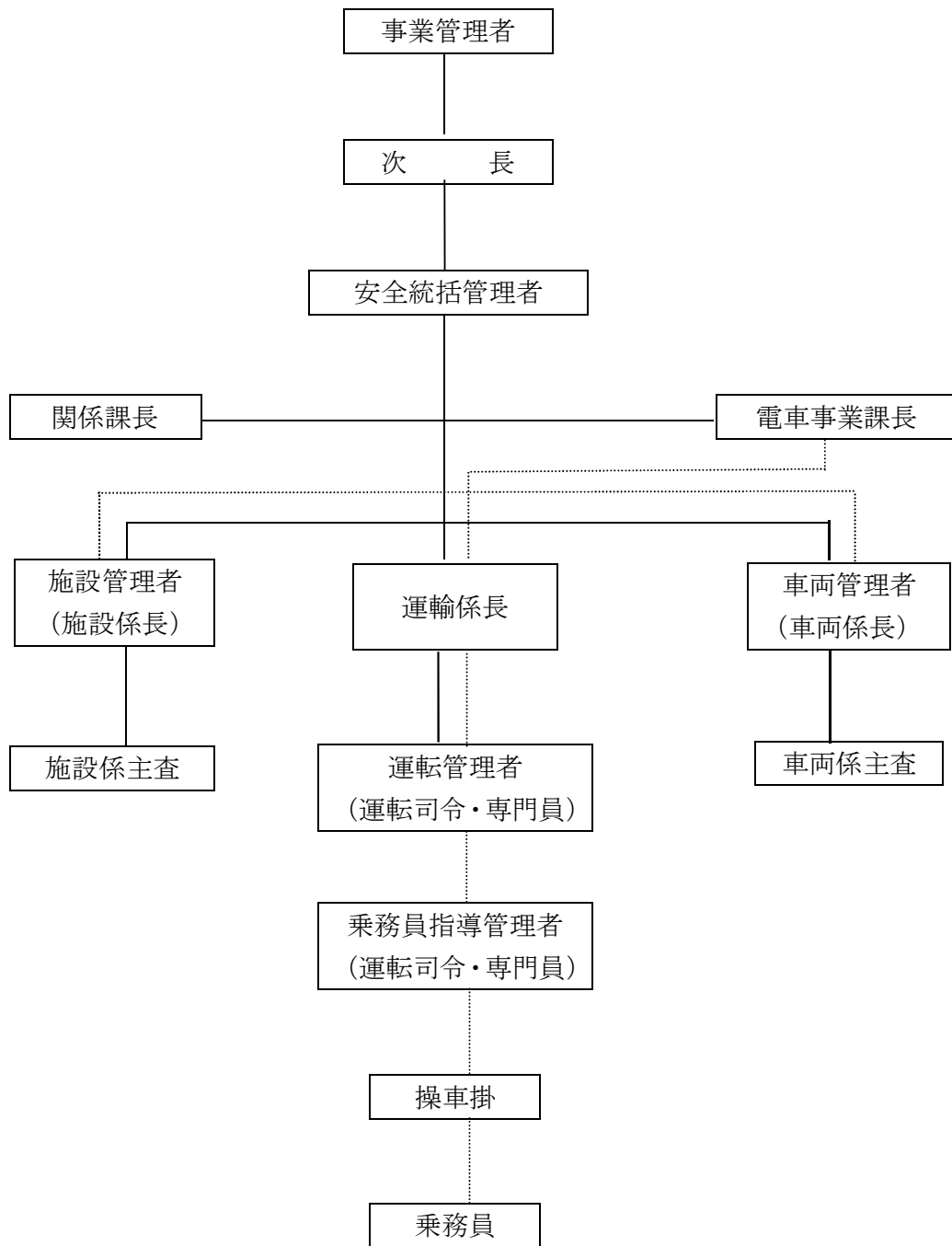
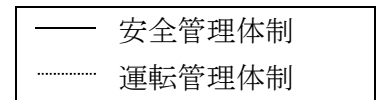
	研 修 名	期 間	受講者数
1	春の全国交通安全運動によせての研修（合同）	4月11日～4月13日	16名
2	施設係(架線)職員研修	5月1日～5月2日	7名

	研 修 名	期 間	受講者数
3	フォークリフト運転技能講習	6月11日～6月12日	1名
4	脱線復旧訓練(消防と共同)	7月5日	7名
5	研削といしの取替え等の業務の特別教育	7月17日	3名
6	施設係(軌道)職員研修	8月7日	4名
7	施設係(架線)職員研修	8月9日	8名
8	電気主任技術者実務研修	10月5日	2名
9	年末年始輸送安全総点検	12月11日～12月13日	15名
10	き電線路検査研修等(架線)	1月17日	8名

(2) 施設対策

- ・ 電車線の可動ブラケットの点検を行い、腐食箇所は交換を行いました。
- ・ 高見馬場交差点の分岐器クロッシングの交換を行いました。
- ・ 谷山線のまくらぎ交換を行いました。
- ・ 郡元電停交差点(中郡方)の軌道改良を行いました。
- ・ 渡り線分岐器(二中通)の軌道改良を行いました。
- ・ 朝日通り交差点の舗装改修を行いました。
- ・ 高見橋電停交差点ほか1箇所の軌道敷内への路面標示を行いました。
- ・ 南鹿児島駅前停留場(上り)の上屋改修を行いました。
- ・ いづろ交差点のスパン線張替を行いました。
- ・ 高見馬場交差点の転てつ機を更新しました。

7 鹿児島市交通局電車安全管理規程で定める安全管理体制



8 各責任者の責務（鉄道事業法施行規則第36条の10第2号の情報）

役 職	責 務
事業管理者	輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
次 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事及び財務に関する事項を統括する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
電車事業課長	輸送、施設及び車両の業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転士の資質の保持その他運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の下、車両に関する事項を統括する。